

自然と人が調和した、
江別らしい景観を求めて。

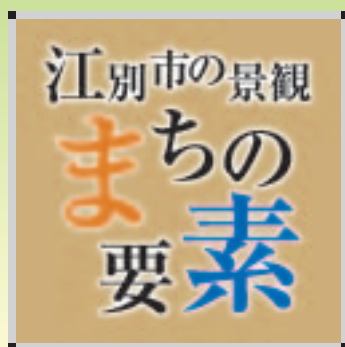
江別市には石狩平野に突き出た市街地が広がる野幌丘陵や野幌原始林、石狩川をはじめとする大小の河川などの自然、開拓時代から続く水田や畑、酪農の原風景といった、素晴らしい景観が今もいたるところに広がっています。また、窯業産業で開かれた江別市ならではのレンガの建造物も随所で見ることができます。

しかし、都会化が進み、市民・事業者・行政が思い思いの景観づくりを行ってきたために、一つ一つは美しく江別らしい配慮がされているものもありますが、全体的な統一感への意識、また後世に伝えるべき景観や改善すべき点が明らかになっていませんでした。

そこで江別市では江別らしい景観づくりの道しるべとなる基本計画を平成18年3月に策定。この基本計画は将来の景観づくりの方向性や考え方を明確にし、どのように取り組んでいけばよいのかを考え、市民の皆さんをはじめ、事業者、行政がともに江別らしい景観を守り、創りだすことを目的としています。

つくろう！ ふるさと江別の 絵になる風景

江別市景観形成
基本計画概要版



江別のまちは住宅街や商店街、工業団地などの市街地から農地や自然公園まで、いろいろな要素で形づくられています。まちの景観とは、それらの要素が一体となることで市街地景観、農村景観、自然景観などを形成し、江別全体の景観となることから、景観づくりには「まち全体」を対象にして考えることが大切になってきます。



▲瑞穂池

自然景観

- 自然がある場所

歴史景観

- 歴史的・文化的なものがある場所



▲北海道指定文化財～野幌屯田兵第二中隊本部

市街地景観

- 住宅街
- 人が集まる場所
- 工場などが集まる場所
- 公共施設



▲現在の8丁目商店街



▲昭和30年代の街並み



▲昔の馬を使った耕作風景

農村景観

- 農村地域



▼今の収穫風景



身近な自然やれんがのある温かい子どもたちへ引き継ぐために。

江別には雄大な自然と、れんがなどの人が創り出すものが織りなす美しい景観が広がっています。この市民共有の財産を子供たちへ引き継ぐため、市では景観の将来像を作成しました。住宅街から商店街、工業地、公共施設、農業地帯まで、それぞれがどのような景観を目指すのかを明らかにすることで、暮らし続けたいくなる景観のあるまちづくりを進めていきます。

1 まち全体 暮らしていて ほっとする景観

恵まれた自然環境や農村の原風景と共存しつつ、江別のまちを象徴するれんがを生かした、人にやさしく、暮らしていて“ほっ”とするような景観づくりを市民協働で目指します。

■将来のイメージ

- 野幌原始林や石狩川などの雄大で繊細な自然が身近に感じられます。
- 鉄道林や街路樹などの潤いと季節の花々に彩られた景観があります。
- 耕地防風林のある農村の原風景にいつでもふれられる機会があります。
- 街なかには昔のままの自然と温かみのあるれんがが織りなす心休まる景観が広がっています。



絵になる江別フォトコンテスト受賞作品
テーマ/水「朝陽に映える」



絵になる江別フォトコンテスト受賞作品
テーマ/緑「私達3世代で守ります。祖母70母40孫6才」



泉の沼公園の林と水辺



都市景観賞受賞「花いっぱい庭づくり」

2 住宅街 暮らし続けたいと 感じる景観

私たちにとって最も身近な空間である住宅街。れんがと緑と花に囲まれ、ゆったりとしたやすらぎと潤いのある景観づくりを目指します。

■将来のイメージ

- 住宅や玄関先などにれんがを使い、きれいな庭やたくさんの花に彩られた温かみのある街並みがあります。
- 近所の人々が花壇づくりに汗を流す姿、森や水辺などの自然の中で遊ぶ子どもたちの光景が見られます。
- 塀のない庭やカーポートが開放的でゆとりある街並みを感じさせます。
- マンションや団地は周りの景観と調和するように配慮された街並みがあります。

3 人が集まる場所 にぎわいと 魅力のある景観

駅前や商店街は市民が集うまちの顔です。意匠を凝らした建物や花壇などによる彩り豊かで活気のある景観づくりを目指します。

■将来のイメージ

- 古いれんがの建物を喫茶店や陶芸店に利用した歴史を感じる街並みがあります。
- 店構えがおしゃれな商店街には、れんが舗道やカフェテラスがあり、木や花々で華やかに彩られています。
- 大型店舗は周りの景観と調和した地域のシンボルに。駅前には電線がなく、緑豊かで活気のある、まちの顔としてふさわしい景観があります。



野幌駅前広場のイメージパース

4 工場などが集まる場所 地域や自然と 調和した景観

工栄町や西野幌地区などの工業団地は、地区の周囲にある河川や野幌原始林といった自然と調和した、緑豊かで

江別の景観を



潤いのある景観づくりを目指します。

■将来のイメージ

- 工場や倉庫などが集まっている工業町の工業団地には、建物と敷地内の木々や団地内を流れる河川や河畔林などの自然環境が調和した緑豊かな景観が広がっています。
- 先端技術系企業が集まっている西野幌の工業団地は、背後に野幌原始林が広がり、ゆったりとした公園や企業の特徴的な建物が調和する緑あふれる快適な景観があります。



工業町工業団地の世田豊平川

5 公共施設 江別らしさ・シンボル性・親しみのある景観

市庁舎や学校、病院などの公共施設や周辺は、市民に親しまれる地域の拠点として、また、幹線道路や公園は地域のシンボルとして、心地よく親しみ感のある景観を目指します。

■将来のイメージ

- れんがを使った市庁舎は、四季折々の花々に彩られた前庭とともに、まちのシンボリックな景観になっています。



- れんがの陰影が特徴的な校舎の周りで、やきものの歴史を学ぶ子どもたちの姿を見ることができます。
- れんがと緑が調和した公園では、木々に囲まれ休憩する老夫婦や楽しく遊ぶ親子の光景が見られます。



石狩川に架かる美原大橋と山並み

6 農業地域や自然のある場所 原風景のある景観

野幌原始林、石狩川といった豊かな自然の景観と耕地防風林のある麦畑や

放牧地・住宅などが織りなす原風景が感じられる調和のとれた景観を目指します。

■将来のイメージ

- 郊外には遠くの山並みを背景に耕地防風林と農地が一体となった原風景が広がっています。
- 石狩川の築堤や電車の車窓からは、雄大な石狩川と美原大橋が織りなす美しい景観を見ることができます。
- 黄金色に染まり、トンボが舞う秋の農村、サイロのそばで牛たちが草を食む夏の牧場など、四季折々に趣のある原風景を楽しめます。



元野幌(8丁目通付近)の丘陵地



地域全体でつくる 江別の未来。

江別市では江別らしい景観の将来像を実現するために「まもる」「つくる」「みちびく」という基本的な考え方をもとにし、市民と事業者と行政がそれぞれにできることを提案しています。江別の美しい風景を未来へと引き継ぐためにも、地域で暮らす一人ひとりが協力し合いながら進めていくことが必要です。

景観をまもる

自然や緑、原風景、歴史的建造物など、江別市にある美しい景観をまもります。



酪農学園大学精農寮



篠津川(中津湖)

■取り組み例

- 所有者の協力を得ながら、れんがのサイロや屋敷林を守り、耕地防風林を維持する方法を検討します。
- 野幌原始林や河川、湖沼といった市内の良好な自然環境や民間の樹林地を市民ぐるみで守ります。

景観をつくる

れんがのまちを意識した、将来につながる江別らしい景観をつくります。



若草町の住宅地の街並み



元町恋歌(れんが)塔

■取り組み例

- 地域で話し合い、建物の色や形態、通りの庭木や塀、見通しなどを工夫し、統一感や安心感のある街並みにします。
- 駅舎や商店街の店舗に地場産れんがを使い、江別らしさを演出。市民の交流拠点として活用します。

景観をみちびく

改善が必要な景観を適切にみちびき、市民が主役となる身近な景観づくりを推進します。



大麻中央公園の水辺



登録有形文化財～旧北陸銀行江別支店

■取り組み例

- 公共施設整備や管理に住民参加の仕組みづくりや、美しい景観づくりを先導する指針を作成します。
- 市民と企業とが文化や歴史的建造物などを守り、活用しやすくするための環境を整えます。



地域の人たちで取り組む江別の景観づくり。そのためには、市民、事業者、行政が連携し、ともに行動していくことが必要です。

市民

江別市民は景観づくりの主役。一人ひとりが地域の一員であることを意識し、庭先の手入れ、道路や公園といった公共の場の保全など、身近な景観づくりを地域や行政と協力して行うことが必要です。

事業者

企業も地域の一員。建物の建設や広告物の設置を行う際など、地域に根ざした景観づくりに配慮することが大切です。また、住民や行政と協力し、まちづくりへの積極的な取り組みが期待されます。

行政

行政は都市景観形成の推進役。市民や事業者が行う景観づくりを先導し、江別らしい景観をもった公共空間づくりに努めるとともに、景観づくりの機運向上のための啓発や情報提供を行います。